

一般質問通告書

平成25年6月10日 NO. 1

質問者	質問事項	質問の要旨
5番 吉村 雅明	1. Aコープ久山と道の駅の今後の動向は	昨年9月議会で質問したが、町長は「JA粕屋と町のタイアップが出来ないか、現在研究中でさらに調査したい」と回答された。また、本年3月の百姓談義の中で「平成27年度には、道の駅を町で進めたい。まちづくりプロジェクトの構想の中で、道の駅を中心とした食の広場を現在検討している」と話されたが、Aコープ久山と道の駅についての現状等進捗状況をお聞きしたい。
	2. 福岡県広域森林組合の対応について	広域森林組合については、昨年の11月に加入決定以来、本年4月から篠栗町にて粕屋支部として本格的に稼働している。町内関係森林組合については、今後どのような対応が進められるのか。どこまで合併前の町森林組合の対応ができるのか。森林環境税の対応や新しい施業対応等、全く先が見えないと林業関係者は大変心配されている。広域の具体的な今後の対応方針等お聞きしたい。
6番 佐伯 勝宣	1. 健康の町のブランドを活かした食について	①まちづくりプロジェクトの柱の一つである「食」についての進捗状況は。 ②将来的な手法の一つとして、家庭菜園程度の広さの用地で、EM農法による無農薬栽培をおこなう考えはないか。従来の隔離された環境でおこなわれる無農薬栽培よりも比較的栽培が容易になってきている。食材販売などをおこなっている他の自治体と差別化でき、健康の町のブランドにも合致した取り組みが可能になると考えるが。
	2. 街灯設置についての対応	①安全対策として、町内の老朽化した街灯の保守点検や未設置の箇所など状況把握と対策は。 ②景観づくりとして、伊野皇大神宮に続く町道などに、夜の景観を考慮した街灯の設置を考えてはどうか。
7番 佐伯 國廣	1. 久保橋の架け替えに伴う町の対応は	久保橋の架け替えについては、平成24年4月4日に要望書を提出し、25年5月16日の下久原田園地区計画推進委員会で、町の計画案を委員長から説明を受けた。その案は、県道福岡直方線から橋の周辺までの計画になっていたが、委員会で橋の位置を決めたのは、橋の先の道路建設を含めた一連のものとして計画したものである。橋から先の計画案をおたずねしたい。
	2. Aコープ久山の閉店と道の駅の開設は	①町は粕屋農協から、Aコープ久山は平成26年2月に閉店の通告を受け、役場職員と地元農協職員と協議がされると聞いていたが、どのように進行しているのか。 ②百姓談義の講演で道の駅を平成27年までには立ち上げたいと町長は言われていたが、何の根拠があつて言われたのか具体的に聞きたい。
8番 松本 世頭	1. 農業振興対策について	①道の駅「農産物直売所」の進捗状況は。 ②久山農業六次産業化に向けての行政の役割とは何か。また、将来展望（構想）について町長の考えを問う。
	2. 交通安全対策について	県道猪野・土井線の古賀橋から片山橋間における歩道未設置（危険箇所）部分の整備計画について問う。
9番 本田 光	1. 町内のバス路線を維持・確保し、より効果的・効率的な対策を	①公共交通の衰退とマイカー・モータリゼーション社会・高齢化社会に突入している。費用対効果を考えたとき、町コミュニティバス（イコバス）に黒字を求めるのは無理、お年寄りや交通弱者、利用者が本当に利用したくなるような工夫、町コミュニティバスと①デマンドタイプの乗合タクシー②福祉タクシーなどを一体で考えるとより便利な交通手段となると思うがどうか。
	2. 町指定ごみ袋の改善とごみ処理問題について	①一般可燃指定ごみ袋1枚の販売価格は、(大)105円、(小)70円は、他町と比較して特別に高い。負担の公平性からいって、他町並の価格に引き下げてはどうか。3月議会での質問に対して、町長は「財政上の問題ではない。久山町は、他町と違い福岡市へ処理委託しており、105円は収集運搬手数料である」と答弁。他町の倍のゴミ袋の値段にして、町民へごみ減量の「意識改革しろ」は、押し付けであり、筋違いな話である。ごみ減量の目的達成をめざすには、つながらないのではないのか。 ②10年近い現状の枠組みを続けて行って、根本解決が図られるかどうか。町のごみ行政が問われている。住民と町の協力、生産者責任の徹底でこそ、ごみは減らせると思う。従って、過大なごみ袋の値段を他町並に引き下げてはどうか。

一般質問通告書

平成25年6月10日 NO. 2

質問者	質問事項	質問の要旨
9 番 本田 光	3. 学童保育について	<p>現在、久原・山田校区の学童保育所対象児は、小学3年生までとなっており、両校区とも定員は45人である。共働き家庭、母子家庭などの小学生の放課後生活を保障する施設、学童保育の充実と小学6年生まで対象年齢を拡大。また、久原小の学童保育所（勤労青少年ホーム内の保育室を拡張しての対応）について3月議会で質問。これに対し町長は「27年度に向けて対象児を現行から6年生まで拡大し、久原小学童保育所の施設は満杯状態なので、別棟施設の検討を含め準備をすすめていく」と答弁。27年度に向けて対象児を拡大した場合、施設整備、開設日数、指導員の増員など、現行水準を大きく上回る条例づくりが今後の大きな課題になると思う。従って、その準備(スケジュール)に取り組むことが必要だと思うがどうか。</p>
4 番 有田 行彦	1. 林業政策について	<p>①森林組合だけの林業活性化は厳しい。町は今後林業に対し、どのような対策を考えているのか。また、森林経営計画の説明会等を開催する考えはないか。</p> <p>②以前行われた久山の木を使った家づくりプロジェクト事業を、林業活性化のために今後も取り組んでいく考えはないか。</p> <p>③幼稚園建設や公共施設の建設に久山の木を使う考えはないか。</p>